

Data (2025年6月現在)

所在地 〒006-8585
北海道札幌市手稲区前田7条15-4-1

スタッフ 松原三智子(教授)、深津恵美(教授)、
水野芳子(講師)

URL <https://www.hus.ac.jp/grd-p/ph-ns/>



左から水野、松原、深津

北海道科学大学 公衆衛生看護学専攻科

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は1967(昭和42)年に北海道工業大学として開学後、2014(平成26)年には工学と医療を融合して改組し、「北海道科学大学」に名称を変更しました。現在は、5学部13学科と大学院3研究科を擁する実学系総合大学として、地域に根ざした教育および学術研究と成果の社会還元に努めています。このような理念に基づき、本専攻科は2020(令和2)年に大学専攻科の設置第1号として開設しました。

Education

どのような教育をしていますか？

専攻科は少人数制を導入し、新たな時代の地域保健活動において、中核的な役割を担う実践力のある保健師を養成しています。授業科目の構成は20科目32単位で、総合大学のメリットを生かし、「コミュニティデザイン論」では工学、薬学、未来デザイン等の他学部の教員から、本学の地域貢献活動をテーマに、グローバルな地域の捉え方やまちづくり、支援方法等について講義を受け、保健医療や地域創生に関する最新の知見や動向に関する深い理解と幅広い視野を身に付けることができます。

また、地域看護診断については公衆衛生看護学実習で深めるとともに、後期の保健医療福祉政策論では、実習で取り上げた健康課題における事業

展開を立案して発表会まで行っています。

通年科目の「継続支援実習」では、親子と高齢者のお宅に継続的な家庭訪問を実施し、看護過程展開能力の育成を図り、親子や高齢者の利用施設の見学、産業および学校保健の実習も加えて、地域のケアシステムと保健師のコーディネート機能を学ぶことに力を入れています。

大学院教育(修士・博士)では、卒業生だけでなく現場で活躍する保健師の学び直しの場にもなっており、それぞれが自分の研究テーマに向き合っています。

Research

どのような研究をしていますか？

教員は保健師の実務経験を有し、保健師の基礎教育や現任教育、健康危機管理、子育て支援、地区組織活動等に関する研究に取り組んでいます。また、「高齢者元気サポート」という大学周辺地域の高齢者の健康や体力に関する「縦断研究調査」を、看護・理学・工学・薬学部等と協働で実施しており、健康面や服薬に関する個別相談等も希望者に行っています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

教員は、北海道内の保健師の現任教育における研修会の講師や、市町村の各種計画支援、審議会、運営委員会等を担っています。

ひとこと

専攻科を開設して6年目を迎え、北海道・市町村等で修了生が多数活躍しています。実習地域を含む北海道内保健所と管内市町村、看護協会の保健師職能等の保健師の皆様と共に協働しながら、保健師の基礎教育および現任教育、研究等、一緒に考えていきたいと思います。(松原)

あなたの
研究室を
紹介して
ください!

保健師ジャーナルでは、このページに登場して下さる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ● 電話、FAX、E-mailのいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ● 医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 メール hokenshi@igaku-shoin.co.jp